

頻発する自然災害

ひとりでも多くの「いのち」を救うために

赤十字活動へのご協力をお願いいたします

私たちが力を入れる 2つの災害対策

1 救護力のさらなる強化

いかなる災害にも迅速・的確に任務を遂行するために

訓練、研修を通じて、
救護要員の実践力を向上

全国で約490班、埼玉県内には10班の医療救護班を常備。災害時には発生場所を問わず、訓練を受けた職員が迅速に駆けつける体制を整えています。



活動の一例

- 避難所の巡回診療
- 臨時救護所の設置・運営
- こころのケア、避難所環境の整備など

2 地域防災力の向上

自助力・共助力を高めるために

防災・減災、いのちを救うための知識・技術の普及促進



赤十字防災セミナーや救急法の講習を通じて、「救われる側」から「救う側」になれるよう、知識や技術の普及を進めています。

活動の一例

- 自治会・町内会、学校等に向けた防災教育
- 傷病者の応急手当ができる救急法有資格者の養成

救援物資の配備による地域支援



県内全市区町村に、災害時の救援活動に必要な車両や資機材を配備するほか、被災された方にお配りする救援物資を備蓄しています。

救援物資の一例

- 毛布 ●緊急セット
- 安眠セット ●ポータブルトイレなど

これらの活動は、皆さまからの温かいご寄付によって支えられています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。

災害リスクの増大により“高まる防災意識”



自治会・町内会で



学校で

赤十字は、さらなる防災対策の強化を進めます

赤十字では地域住民に向けた防災セミナーや幼稚園・保育所、小・中・高等学校での防災教育に取り組んでいます。増大する災害リスクに対応するため、防災への取組みをさらに強化していきます。



皆さまからのご寄付を地域で活用しています

被災者支援

(火災、床上浸水など)

● 救援物資の配付



● 布団セット・毛布・緊急セットなどの備蓄



ともに支え合う地域づくり

● 高齢者との交流会



● 炊き出し訓練



地域防災力の向上

● 災害救護資機材の配備 (市区町村へ)



ポリタンク型 非常用浄水器



ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット



移動炊飯器



自動ラップ式簡易トイレ

「私たちも赤十字の活動を応援しています」



入間市藤沢地区での防災セミナーの様子

私たちにとって赤十字は 命と暮らしを守ってくれる、心強い存在です

日頃、自治会を通して防災に取り組んでいますが、赤十字防災セミナーは大変参考になりました。参加者到大変好評だった『避難所で役立つ実技体験』など、地域での自主防災に活かして行きたいと思っています。



入間市藤沢地区
自主防災連絡会
代表 齋藤 勝久さん

赤十字活動資金へのご協力をお願いします

日本赤十字社へのご協力は、皆様の自由なご意思によるものです。赤十字の目的や事業をご理解いただいたうえでご協力いただければ幸いです。なお、これらの活動は、自治会・町内会の皆様の多大なご協力によって成り立っております。ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

赤十字の活動を詳しく見る▼



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町3-17-1

問い合わせ先

048-789-7117

(振興課)